

DIRECTFORCE の情報紙

DF NOW

2012年10月発行 NO18

詳しくはDFホームページ <http://www.directforce.org>をご覧ください

「収穫の喜び」 曾山高光氏（写真同好会）

一般社団法人ディレクトフォース 〒100-6919 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング19F 電話03-5288-7560 発行人・真瀬 宏司 印刷・株ケープリント

創立10周年

この10年の実績を踏まえ
次のステージに向け更なる飛躍をめざす

創立10周年を記念する第22回社員総会が、10月10日学士会館で会員約200名参加のもと盛大に開催されました。真瀬宏司代表理事が第10期レビュー、第11期予算を説明するとともにDF10年の歩みを振り返り、その実績を評価すると同時に、次のステージに向けての方針を発表しました。

1 第10期レビュー 厳しい環境のなかで黒字を確保

(1) 財務状況

3月の社員総会では、DFマネジメント（以下、DFM）の売上見込みは85百万円と厳しい状況であると説明しましたが、DF+DFMのトータルで何とか1億円の売上を達成したいと考えていました。

結果は、事務局と会員皆様のご努力により、全体の売上が110.3百万円と1億円を超えるに至りました。支出が109.9百万円で、経常利益はわずかですが40万円を計上することができました。

収支の内訳は、下の図1に示しているのとおりです。

昨年と比較しますと18百万円の売上減少ですが、パナグループ売上が約10百万円減少しており、売上に占めるパナナの割合が30%から14%と半減したことおよびコンサルの苦戦が影響しています。

支出の中の会員への支払いは売上減少に伴い前年より減っていますが、会員皆様への支払いが減ったことには問題意識を持っております。今期については皆様への還元をいろいろな形でより充実させるよう考えています。

人件費は昨年とほとんど変わっていません。家賃は、値上げを賃借の坪数縮小で吸収していますが、対応をとるまでの影響で3.5百万円増加しています。

月までの出席者数平均は106名で昨年から10%強減っています。収支面からいえば140名が採算の取れる人数ですので、分かりやすく毎回140名出席を目標にしたいと思っています。

千代田区に校再生活協賛金100万円を寄贈、平成20年にその一環として竹橋に寒緋桜3本を植樹しました。今では3月から4月初めにかけて見事に花を咲かせる様になっています。10周年記念でも同じく植樹を検討しましたが、植樹場所がないとこのことで今回は記念パーティーのみにとどめることにしました。

(2) 会員の活動状況

実働会員数は539名で前期8月末と比較すると40名の減少です。これは退会、休会88名に対し新規入会者48名を差し引いた結果ですが、4カ月間新規入会受付を休止していたのを考慮すると実質増加傾向にあります。

実働会員539名のうち何らかの活動に参加していただいている方がどのくらいいるのかを調べたところ、その参加率は88.5%で、前回の72%に比べ大きく伸びています。

勉強会に出席した会員数はネットでは変わっていません。今年3月の総会・勉強会の出席が177名と多数でしたが、5月から8月までの出席者は100名を切っています。3月から8



10周年の記念パーティーで挨拶をする真瀬代表

2 DF10年の歩み 創立期の苦難を乗り越え成長持続

(1) 10年間のあゆみ

平成14年9月に中間法人ディレクトフォースがキックオフ、水野さんが初代代表理事、横井さんが事務局長に就任されました。創立期には大



次のステージに向け決意を語る真瀬代表

変苦勞されたようで、一年半ぐらいで基金の800万円が底をつき、平成16年に株式会社DFMを設立することになります。会の存続、継続のためには収支を明確にする必要があるとの水野さんの強い思いによるものでした。それ以降8年間黒字を継続しています。ポイントはこの存続のためにはある程度の稼ぎが必要であるということです。

(2) 10年間の財務状況の推移

創立当初2年間は大変厳しい状況が続いていましたが、2005年から売上高が大体月100百万円のペース、年間1125130百万円の水準で推移し、2007年には過去最高の

162百万円を記録しています。利益の推移については、厳しかった最初の2年を除けばずっと黒字で推移しています。2011年には特殊要因があり17百万円の利益を上げました。厳しかった2010年は0.5百万円、前期2012年が0.4百万円とわずかながら黒字が続いています。これは事務局並びに会員皆様の努力の結果と感謝しています。

今後の方針と第11期予算
(1) DFの更なる発展のために
今後の活動を続けていくうえで、ディレクトフォースの原点、「ディレクトフォースはSenior ExecutiveのOBを組織化し、その知見・人脈を活かして社会に貢献することを目的とする」が基本であることを再確認したいと思っています。

(2) 運営の仕組み Social Enterpriseとして
DFMはあくまでもDFの会員活動を支援していくためのサイトであることをベースに考え、原点の目標に戻る。そしてアカデミー、企業支援、サーチの3事業部が会員皆様の支援をいたしきながら効率よく売上と利益を生んで、DFの会員活動すなわち年2回の総会・毎月勉強会、5部会、2研究会、21同好会の活動を支えていきます。

(3) 新組織
ディレクトフォースに新しく副代表を設け、坪井さんが事務局長と兼務します。そして先に説明した運営企画委員会をDFの中にも置くことにします。DFMの取締役会定員は5名と定められていますが、現メンバーは真瀬、坪井、渡辺（パナキヤリア）、甲賀（パナ）の4名です。両組織の共通部門

(4) 第11期の予算
売上は前期並みの110百万円、利益は0.2百万円と計画しています。最低限の目標であり、実際にはもう少し大きめの数字を目指します。

(5) 勉強会の予定
来年3月の総会時の勉強会講師を交渉中であるのを除いて、11月から来年7月まで勉強会の日程とテーマがすでに決まっています。会員の皆様には予定表に記入いただき、ご出席を予定いただきますようお願いいたします。テーマによっては奥様のご出席も期待しております。

(6) DFの更なる飛躍をめざして
今後5年、10年先をめざして発展していくためには、何より会員数の拡大が必要です。まず当面600名を凌駕したいと思っています。会員の皆様に新規入会者紹介をぜひお願いします。そのために今期は会員の満足度をこれまで以上に高めていくと同時に、全会員の活動計画をお願いしていきます。また理科実験のような社会貢献活動をいっそう進化発展させ、DFの活動を通じて日本の閉塞感払拭に少しでも役立ちたいと思います。

そしてDFの活動を一般の方々に認知、理解していただくために情報の対外発信を強めていく必要を感じております。

図1 10期の収支内容（DF+DFM）

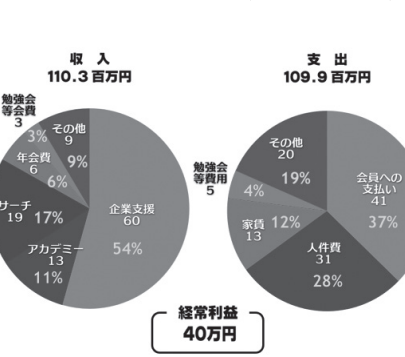


図2 運営の仕組みSocial Enterpriseとして



一般社団法人ディレクトフォース10年の歩み

平成14年
2002

創立

9・24 有限責任中間法人ディレクトフォース設立
主たる事務所 港区赤坂8丁目7番15号
代表理事・水野勝氏 理事・南部靖之氏
理事・長富祐一郎氏 監事・高橋渾夫氏
事務局長・横井時久氏



初代表・水野氏

1・23 第1回会員総会・第1回勉強会を開催
5・1 ディレクトフォースが有料職業紹介の資格取得



創立総会の様子

2・19 株式会社DFマネジメント設立
営業4チームを設置
アカデミー・チーム(講義・講演)
サーチ・チーム(人材紹介・職業紹介)
コンサルティング・チーム(営業支援・経営支援)
開発チーム(後にベンチャー・チームに発展)

平成15年
2003

1
年目

平成16年
2004

2
年目

平成17年
2005

3
年目

1・1 会費制導入(年会費12,000円)
2・4 主たる事務所移転
港区赤坂8丁目7番15号から
千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビルに移転
8・24 創立3周年記念パーティをパレスホテルで開催
9・12 11の同好会が発足
9・14 監査役部会研修会第1クール スタート

平成18年
2006

4
年目

8・23 創立5周年記念パーティをパレスホテルで開催
8・23 創立5周年を記念して千代田区に
桜再生活動協賛金100万円
(内50万円植樹)寄贈
8・23 水野勝代表理事・横井時久事務局長に代わり、
田中健一氏が代表理事、河村肇氏が事務局長に就任
10・11 環境部会自然環境保全活動分科会が第1回緑のボランティア
(草津国有林間伐作業)を開始



5周年記念パーティで挨拶をする水野代表

平成19年
2007

5
年目

平成20年
2008

6
年目

3・3 創立5周年を記念して千代田区竹橋に緋寒桜3本を植樹
12・1 一般社団・財団法人法施行 有限責任中間法人は一般社団法人に移行

10・30 社名を「一般社団法人ディレクトフォース」に変更
田中健一代表理事、河村肇事務局長に代わり、
松村洋氏が代表理事、児玉亨氏が事務局長に就任



2代目代表の田中氏

3代目代表の松村氏



8・19,24 横浜開港150周年に協賛、サイエンス広場で
小学生向け理科実験を実施、理科実験グループ発足

2・26 主たる事務所移転
千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビルから
千代田区丸の内2丁目6番1号丸の内パークビルディングに移転

12・1 松村洋代表理事に代わり、
真瀬宏司氏が代表理事に
就任

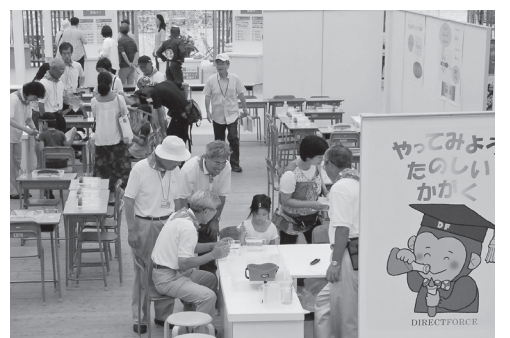


4代目代表の真瀬氏

1・1 児玉亨事務局長に代わり、
坪井莊一郎氏が事務局長に就任
8・31 会員数 539名(登録会員数 913名)
10・10 創立10周年記念の会員総会を学士会館で
開催



現事務所丸の内パークビル



サイエンス広場での理科実験風景

新入会員紹介

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

木村等 富士通
大木一弥 日本アイ・ビー・エム
木村正治 日本アイ・ビー・エム
中村恭二 日本興業銀行
小松一久 日本アイ・ビー・エム
中村幸夫 内田油圧機器工業
林孝男 日本アイ・ビー・エム
江口善朗 三菱マテリアル

中西聡 帝人
赤堀智行 日光商事
川村収 リコー
シャビロ・デヴィッド 三菱商事アメリカ
小松孝一 三菱商事
平野光彦 日本アイ・ビー・エム
山川征夫 東京三菱銀行
中村幸雄 損保ジャパン
三入稔 キリンビール
吉田芳樹 三井物産

勉強会レポート

● 詳しい内容はホームページをご覧ください ●

■ 4月勉強会
「TPP亡国論」



中野剛志氏
京都大学大学院準教授

■ 6月勉強会
「福島事故は諸外国の原子力に
対する取り組みを変えたか？」



西村章氏
東京工業大学原子炉
工学研究所特任教授

■ 5月勉強会
「新聞・テレビはどうなるかー
ネットの猛威で変わるメディア環境」



猪熊建夫氏
DF会員、IT総合研究所代表取締役、
元船井総合研究所役員、
元毎日新聞社経済部デスク

■ 7月勉強会
「知って得する老化予防」



岩本俊彦氏
東京医科大学主任教授

■ 9月勉強会
「社会保障と日本経済の行方ー
人口減少と日本経済の見通し」



西村周三氏
国立社会保障・
人口問題研究所長
元京都大学教授、副学長

■ 8月勉強会
「女性宮家は日本を滅ぼす」



竹田恒泰氏
慶應義塾大学講師、
憲法学者、作家



5周年記念で緋寒桜を植樹



見事に育った緋寒桜
(平成24年4月現在)

平成22年
2010

8
年目

平成23年
2011

9
年目

平成24年
2012

10
年目